

# 電子出版講習会

## MS-Wordでの論文の書き方

片桐 広明

- HEACC2001での経験を基に説明します
- よくあるエラー、対処例を紹介します
- 実演で使用する環境: Windows2000 / Word 2000

## 目次

- テンプレートについて
- 文章の入力
- 記号の入力
- 数式の入力
- 図・写真の入力
- ポストスクリプトファイルの作成
- 提出方法

2

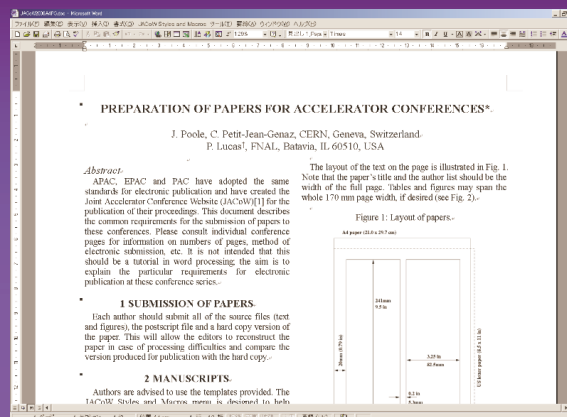
## テンプレートのダウンロード

- まず、会議のホームページから“Word テンプレート”をダウンロードします
- 自分の環境に合ったファイルを選択してください
  - ◆ OS Windows / Macintosh
  - ◆ バージョン Word97 / Word2000 など
  - ◆ 用紙 A4 / US letter

3

## テンプレートの例

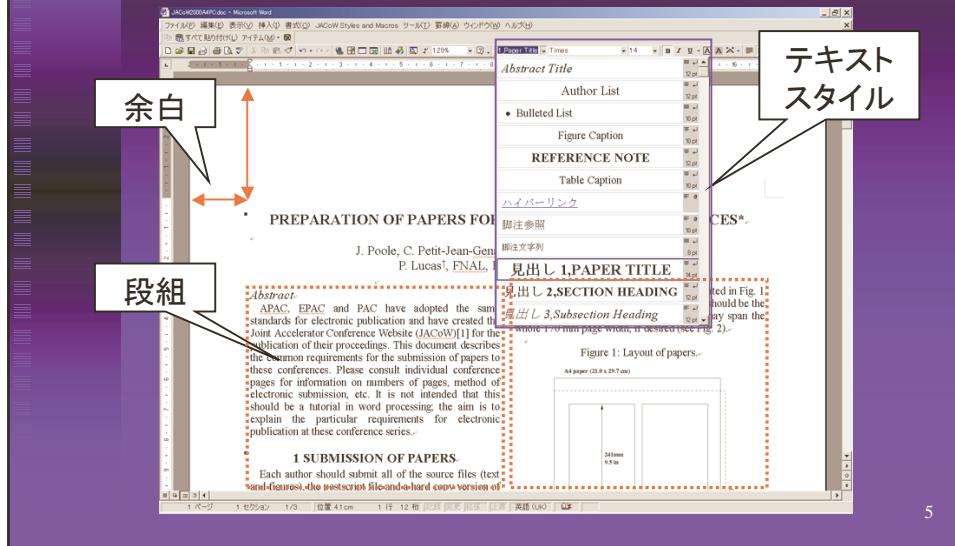
- PAC2001用テンプレート
  - ◆ 論文の書き方が説明されています
  - ◆ 必ず目を通してください



4

# テンプレートの内容

- あらかじめ書式が設定されています



# テキストスタイルとは

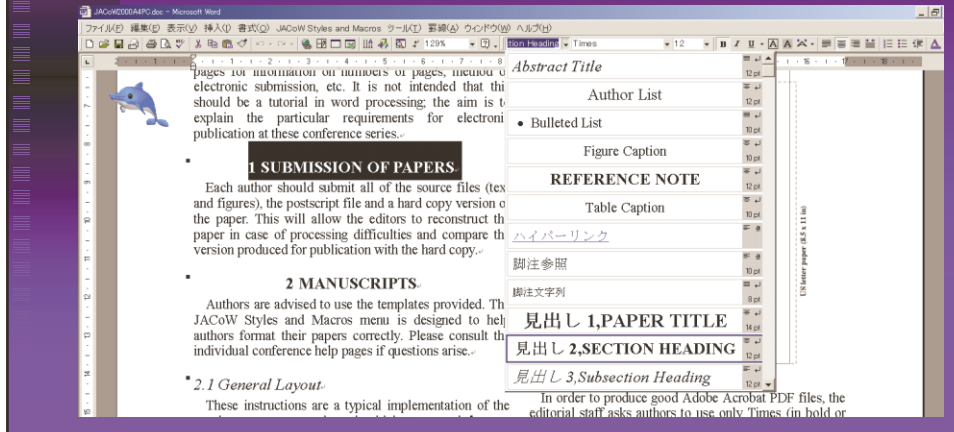
- 論文の部位ごとに、あらかじめテキストスタイルが設定されています
- フォント、サイズ、飾り付け、文章揃え、行間
  - ◆ PAPER TITLE
  - ◆ SECTION HEADING
  - ◆ Subsection Heading
  - ◆ 本文インデント



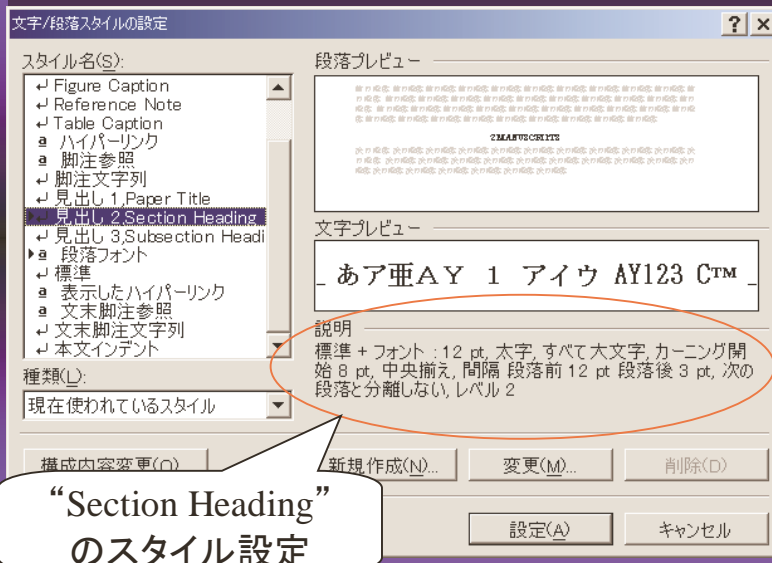
テキストスタイル一覧

# テキストスタイルの例

- “SECTION HEADING”が選択されています
  - ◆ Times (Bold)、12ポイント、中央揃え、に設定
  - ◆ 全て大文字に変換



# テキストスタイル(詳細設定)



“Section Heading”  
のスタイル設定

## 文章の入力

### ■ 失敗例

- ◆ “SECTION HEADING”が Bold になっていない
- ◆ テキストのポイント数の間違い
- テンプレートに倣って入力していきます
- テキストスタイルを変更には、十分注意して下さい

9

## スペルチェック

### ■ 失敗例

- ◆ タイトル、セクションヘディング中のスペルミス
  - ◆ “スペルチェック”ツールの  
[すべて大文字の単語は無視する]  
をチェックしてあると、検出されません

10

## ここまでのまとめ

- 必ずテンプレートを基に作成する
  - ◆ 上書きを推奨
- むやみに書式設定を変更しない

11

## ギリシャ文字、記号の入力

- 失敗例(日本語のフォントになります)
  - ◆ 日本語入力モードで、
    - ◆ あるふあ[変換] >  $\alpha$
    - ◆ かける[変換] > ×
- “ $\alpha$ ”、“ $\beta$ ”、“ $\mu$ ”、“×”、“±”、“→”
- これらの文字には“Symbol”を使用します

12

## ギリシャ文字の入力

- アルファベットを入力後、フォントを“Symbol”に変換します

- 変換例

[a] → [α]    [b] → [β]    [m] → [μ]  
[p] → [π]    [D] → [Δ]    [S] → [Σ]

13

## ギリシャ文字の入力

- abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
- αβχδεφγηιφκλμνοπθρστυϖωξψζ
- ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
- ΑΒΧΔΕΦΓΗΙΘΚΛΜΝΟΠΘΡΣΤΥΖΩΞΨΖ

14

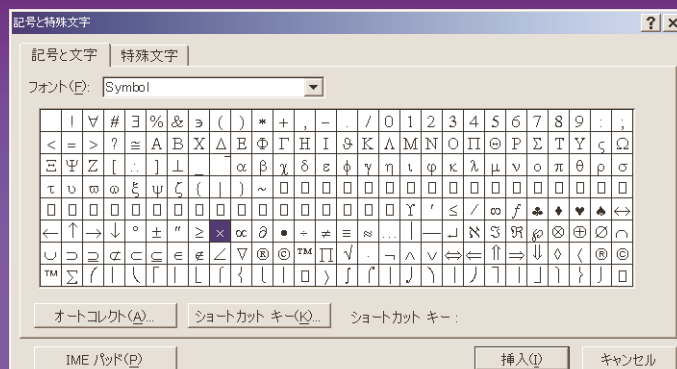
## 記号、特殊文字の入力

- キーボードから直接入力できない記号は、“挿入”します
- [挿入] > [記号と特殊文字] でダイアログを開き、[フォント]メニューの“Symbol”を選択します

15

## 記号と特殊文字の入力

- [挿入] > [記号と特殊文字]
- ダブルクリックが[挿入]で入力できます



16



## Macintosh の場合

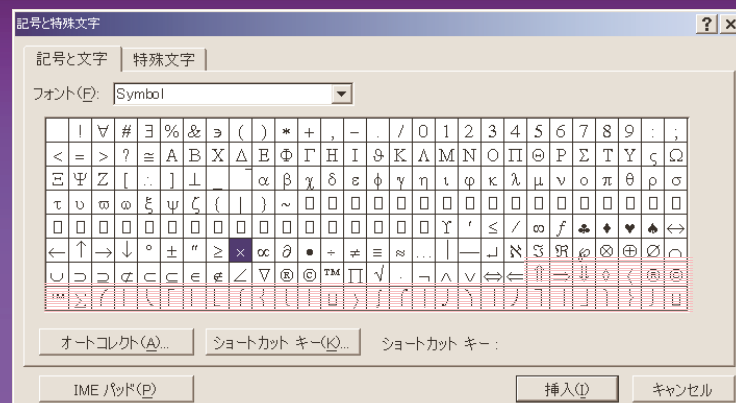
- アップルメニューの [キー配列] も使用できます
- キーボードから直接入力できます



17

## 記号と特殊文字

- Windows では、“TrueType”フォントが使用される場合があります(ピンク色の部分)



18

## ここまでのまとめ

- 記号には“Symbol”を使用する
- 日本語フォントが入らないように注意する

19

## 数式の入力

- 数式エディタで作成し、挿入するのが一般的です
- 数種類の数式エディタがあります
- 日本語フォントが入らないように注意してください

20

## 数式エディタの種類

- Word 標準の数式エディタ
  - ◆ Microsoft Equation Editor
    - ◆ MathTypeの簡易版です
    - ◆ Word をインストールする際にオプション指定する必要があります
  - ◆ EQフィールド
    - ◆ 特別なセットアップは不要、コマンド形式
- その他の数式エディタ
  - ◆ MathType (Design Science社)
    - ◆ 簡易版からアップグレードが可能です

21

## Microsoft 数式エディタ

- [挿入] > [オブジェクト] で [オブジェクトの挿入] ダイアログを開き、“Microsoft 数式 3.0”を選択します
- [編集] > [数式オブジェクト] > [開く] でウィンドウが開きます

22

# Microsoft 数式エディタ

The screenshot shows the Microsoft Equation Editor interface. The title bar reads "Microsoft 数式エディタ - C:\Documents and Settings\#katagir\Desktop". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "書式(T)", "スタイル(S)", "サイズ(Z)", and "ヘルプ(H)". The toolbar contains various mathematical symbols and operators. A red box highlights the top part of the toolbar, with a callout box labeled "記号パレット" (Symbol Palette). Another red box highlights the template buttons (fraction, root, integral, etc.), with a callout box labeled "テンプレート" (Template) and "かっこ、分数、根号、和、積分、など" (parentheses, fractions, roots, sums, integrals, etc.). The main editing area contains the formula 
$$C_B = \frac{q^3}{3\epsilon_0 mc} = 3.54 \mu eV/T$$
. The status bar at the bottom shows "スタイル: 文字列(...)", "サイズ: シンボル(...)", and "ズーム: 200%".

# Microsoft 数式エディタ



実演

## Microsoft 数式エディタ

- Windows では、“Symbol (TrueType)”が使用される場合があります
- “MT Extra” が使用される記号があります
  - ◆ Windows TrueType (Built-in)
  - ◆ Macintosh Type1 (Built-in)

25

## (参考)フォントの扱い

- 基本的に使用可能なフォントは、“Times”と“Symbol (Type1)”だけです
- “Symbol (TrueType)”、“MT Extra”が入っていると
  - ◆ Proceeding Office の判断により、修正される場合があります

26

# 数式エディタ (Windows)

## ■ Symbol(TrueType)が使用される例

このタイプのカッコは TrueTypeになります 以下の方法で回避できます

$$C_B = \left( \frac{q^3}{3\epsilon_0 mc} \right)$$

分数の表現を変更

$$C_B = (q^3 / 3\epsilon_0 mc)$$

直接“(”を入力後 サイズを変更

$$C_B = \left( \frac{q^3}{3\epsilon_0 mc} \right)$$

27

# 数式エディタ (Windows)

- 青: “Symbol (TrueType)”になるケースがあります
- 赤: は“MT Extra”になります

関連演算記号	$\leq \geq \lt \gt \ll \gg \neq \equiv \approx \cong \infty$
スペースと省略	$\dots \dots \dots \dots \dots$
数学記号	$\pm \mp \times \div * \cdot \circ \bullet \otimes \oplus \langle \rangle$
矢印記号	$\rightarrow \leftarrow \leftrightarrow \uparrow \downarrow \Uparrow \Downarrow \Rightarrow \Leftarrow \Leftrightarrow \Uparrow \Downarrow \Downarrow \rightarrow \leftarrow$
論理記号	$\therefore \because \exists \forall \neg \wedge \vee$
集合記号	$\in \notin \cup \cap \cup \cap \subset \supset \emptyset$
その他	$\partial \nabla \infty \Im \Re \& \angle \perp \diamond \ell \wp \circ \hbar \lambda \int \Sigma \Pi \Upsilon$

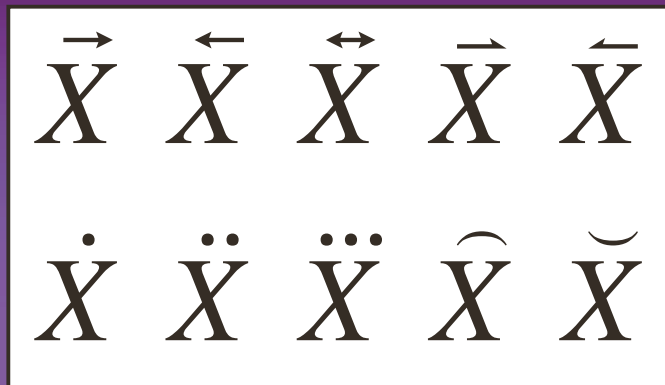
## 数式エディタ (Macintosh)

- 赤: “MT Extra” になります

関連演算記号	$\leq \geq \lt \gt \ll \gg \neq \equiv \cong \infty$
スペースと省略	$\dots \dots \dots \dots \dots$
数学記号	$\pm \mp \times \div * \cdot \circ \bullet \otimes \oplus \langle \rangle$
矢印記号	$\rightarrow \leftarrow \leftrightarrow \uparrow \downarrow \Uparrow \Downarrow \Rightarrow \Leftarrow \Leftrightarrow \Uparrow \Downarrow \Leftrightarrow \rightarrow \leftarrow$
論理記号	$\therefore \because \exists \forall \neg \wedge \vee$
集合記号	$\in \notin \cup \cap \subset \supset \emptyset$
その他	$\partial \nabla \infty \int \Re \Im \angle \perp \diamond \ell \wp \circ \hbar \lambda \int \Sigma \Pi \Pi$

## 数式エディタ (Win/Mac)

- 以下の装飾記号は “MT Extra” になります



30

## ここまでのまとめ

- 数式エディタの注意点
  - ◆ TrueTypeフォントや、MT Extra が使用されることを認識しておく
- MathType へのアップグレードを推奨

31

## 図・写真の挿入

- 図や写真は、[挿入]メニューからファイルを選択して挿入します
- 図の中で使用できるフォント、サイズも決まっています

32



## 図・写真の挿入

### ■ 失敗例

- ◆ 図の中に日本語フォントが入っている
  - ◆ 特に、共著者などから提供されたものには注意してください
  - ◆ “Helvetica”、“Arial”が使われているケースもあります
- ◆ 図・写真と本文が重なっている
  - ◆ 必ずプリントアウトして確認してください

33

## 図・写真の挿入

### ■ 失敗例

- ◆ 図とフィギュア・キャプションが分かれてしまう
  - ◆ 図を1ページ目に入れたいのに、2ページ目に飛んでしまう
- “テキストボックス”を使用すると、レイアウトの設定が格段に便利になります

34

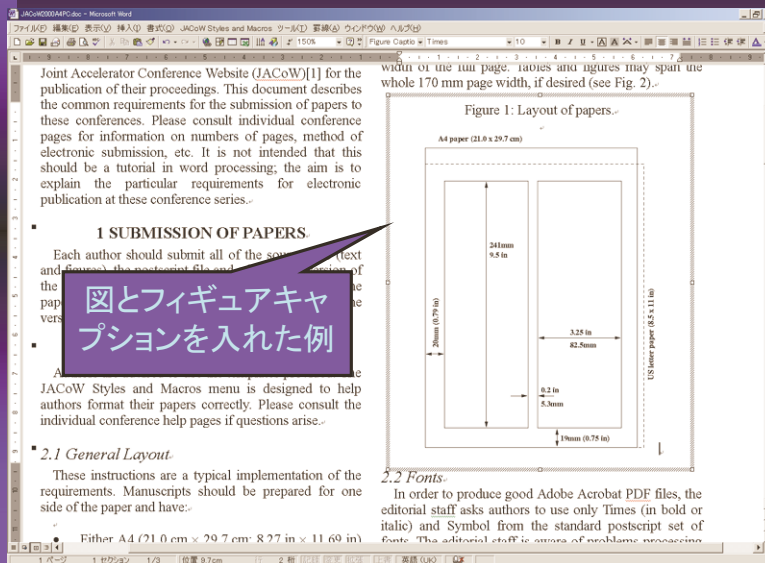
# テキストボックス

- まず、[挿入] > [テキストボックス] > [横書き]を選択して枠を作り、なかに図などを貼り込みます



実演

# テキストボックス



Joint Accelerator Conference Website (JACoW)[1] for the publication of their proceedings. This document describes the common requirements for the submission of papers to these conferences. Please consult individual conference pages for information on numbers of pages, method of electronic submission, etc. It is not intended that this should be a tutorial in word processing; the aim is to explain the particular requirements for electronic publication at these conference series.

### 1 SUBMISSION OF PAPERS.

Each author should submit all of the source files (text and figures) as separate files and save them in the paper folders.

**図とフィギュアキャプションを入れた例**

JACoW Styles and Macros menu is designed to help authors format their papers correctly. Please consult the individual conference help pages if questions arise.

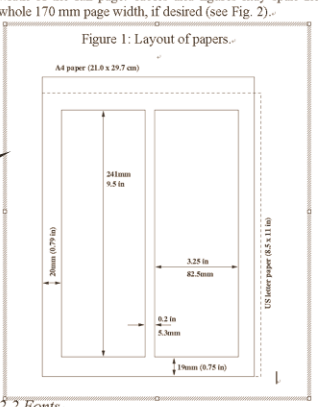
#### 2.1 General Layout.

These instructions are a typical implementation of the requirements. Manuscripts should be prepared for one side of the paper and have:

- Either A4 (21.0 cm x 29.7 cm; 8.27 in x 11.69 in)

width of the full page. Tables and figures may span the whole 170 mm page width, if desired (see Fig. 2).

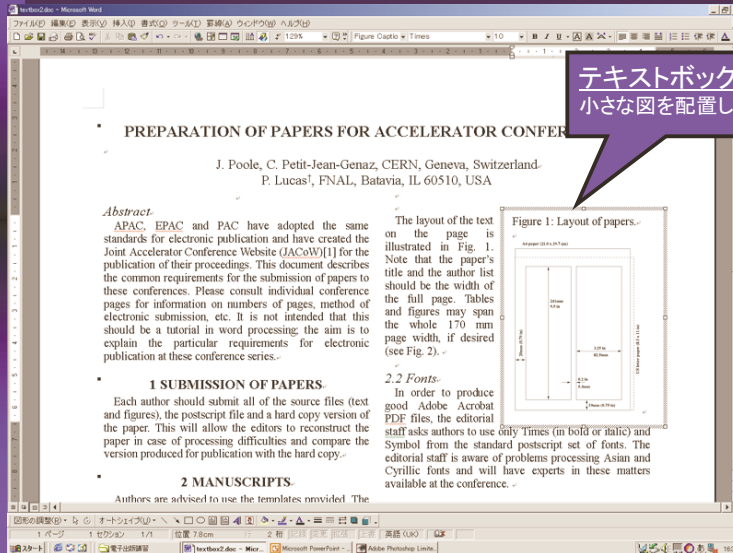
Figure 1: Layout of papers.



#### 2.2 Fonts.

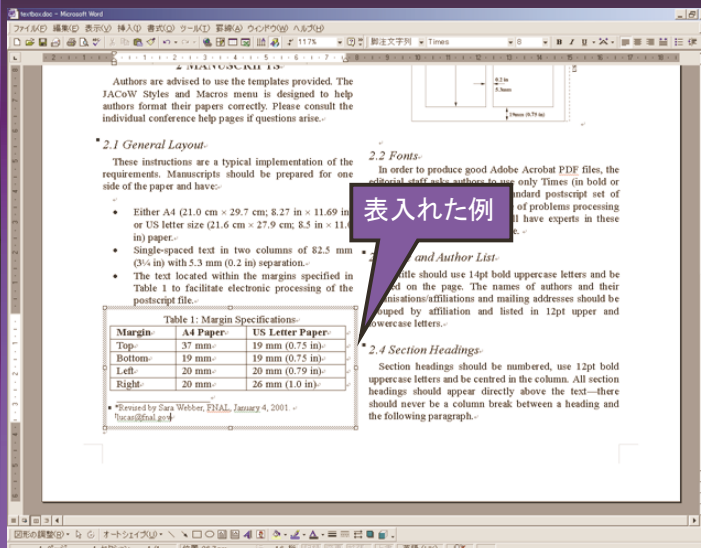
In order to produce good Adobe Acrobat PDF files, the editorial staff asks authors to use only Times (in bold or italic) and Symbol from the standard postscript set of fonts. The editorial staff is aware of problems processing

# テキストボックス



37

# テキストボックス



38

## 図・写真のファイル

- ソースファイルの容量が大きくなりすぎてフロッピーに収まらない場合
  - ◆ 図の挿入オプションで[ファイルにリンク]を指定することもできます
    - ◆ この場は、必ず図・写真のファイルも提出してください

39

## ここまでのまとめ

- 図の中のフォントにも注意
- テキストボックスを活用する

40

## ポストスクリプト・ファイルの作成 (Macintosh)

- プリンタドライバは“Laser Writer 8”を使用します
- プリントダイアログで、出力対象を“PostScriptファイル”にします

41

## ポストスクリプト・ファイルの作成 (Windows)

- [印刷] ダイアログを開いてプリンタを選択し、[ファイルへ出力]をチェックします
  - ◆ 純正PSプリンタを指定してください
  - ◆ プリンタが使用できる環境である必要はありません
  - ◆ プリンタをインストールする際に“ファイルへ出力”と指定することもできます
- ファイルの拡張子は“.ps”に直してください

42

## プリンタ・ドライバについて

- プリンタ・ドライバにより、PSファイルの仕上りが違ってくる場合があります
  - ◆ フォントサイズに若干違いがあり、ページオーバーする場合があります
  - ◆ “Times” ではなく “Times New Roman” を出力するドライバもあります

43

## 論文の提出方法

- 基本的に主催者の指示に従いますが、特に指示がなくても以下のように心掛けてください
- ファイル名はペーパーIDにする
  - ◆ HEACC2001では、“heacc.doc” が幾つも出てきました
- PSファイルだけでなく、ソースファイル、図・写真ファイルも提出する
  - ◆ 修正段階で、どうしても必要になる場合があります

44

## 論文の提出方法

- ハードコピーを添付する
  - ◆ 最終確認に必要です
- ステータスシート(ファイル)を添付する
  - ◆ OSやWordのバージョン、ファイルのリストなど、できるだけ詳しく記入してください
- Macintoshで作成した場合でも、DOSフォーマットのディスクで提出する
  - ◆ 開催国によってはMacの環境が整っていないことがあります

45

最後に、

**必ず提出期限内に提出**  
してください